

平成19年度広域連携等バイオマス利活用推進事業

九州農政局

事業内容	事業実施主体名	事業実施区域	事業概要	事業実施年度	評価実施年度	具体的な取組目標	達成状況	評価結果		備考
								事業実施主体	農政局等の所見	
食品廃棄物等のバイオマス利活用推進	株式会社マルタ	福岡県 行橋市、 田川市、 苅田町、 北九州市、 長崎県 諫早市	福岡県内の複数の食品製造工場、レストランから排出される生ゴミを収集し、炭化・乾燥し、EM菌を活用した炭・堆肥・ペットフードとして長崎県の事業者が製品化。	H19	H20	EM炭、ペットフードなど付加価値の高いバイオマス由来製品の開発を通じて、リサイクル仕向量の拡大を図る。  数値目標 ・発生量:2,244,000kg/年 (各事業所から生ゴミ回収量) ・仕向量:2,244,000kg/年 (原料仕向け量)	×	導入当初より設備の不具合が発生。計画量の処理が困難となり、リサイクルシステムが未稼働。このため製品の利活用についても、広域連携先の長崎県の取引先への利活用も未実施。今後も成果目標達成に向け機器の改善、広域連携リサイクルシステムの構築を進める。	(株)マルタより提出された広域連携等バイオマス利活用推進事業の評価について点検を行った結果、本事業で設定された成果目標が未達成であることを確認。事業実施主体は事業継続の意向があることから、改善計画の作成、提出を指示。	
					H22	○ (再評価)	<改善計画実施後の再評価結果> 平成22年1月4日付けで改善計画(評価検証期間の変更報告:平成22年7月26日提出)を提出。 改善計画に基づき、炭化・乾燥装置の改修後運用を始め、再評価検証期間の7月～9月末日迄の3ヶ月間の搬入量(発生量)及び仕向量は602,858kgとなった。 この実績の平均値から食品残渣の発生量及び仕向量を年間換算した仕向量は2,411,432kg/年となり、当初の目標数量(2,244,000kg/年)をそれぞれ167,432kg(対計画比:107%)上回り、目標を達成。 また、製品の利活用についても、計画どおりに広域連携先との利活用を実施。	<改善計画実施後の再評価結果の所見> 平成22年11月8日付けで報告のあった事業の評価報告を確認したところ、成果目標(2,244,000kg/年)を167,432kg上回る2,411,432kg/年となったことを確認し、本事業については目標を達成したものと認められる。		